

令和元年度～令和5年度観測研究計画

課題番号：ERI 24

( 1 ) 実施機関名：

東京大学地震研究所

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

マルチプラットフォーム次世代 WIN システムの開発

( 3 ) 関連の深い建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整備

(3) 研究基盤の開発・整備

ウ. 地震・火山現象のデータ流通

( 4 ) その他関連する建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整備

(3) 研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

( 5 ) 総合的研究との関連：

( 6 ) 平成 30 年度までの関連する研究成果(または観測実績)の概要：

課題 1518 等の一環として、観測データの収集や全国データ流通を安定的に行うために必要な WIN システムの改修や、研究基盤として重要なデータベースシステムの開発などを進めた。

( 7 ) 本課題の 5 か年の到達目標：

WIN 形式データのリアルタイム伝送が機関の枠を超えた全国規模のデータ流通の基盤となっていること、WIN システムが大学等のデータ処理システムで現在広く使われていること等を踏まえつつ、防災科研や気象庁、海外の関係機関等のデータ伝送システムや対話験測処理システムを参考にしながら、現在の WIN システムに代わるマルチプラットフォームのソフトウェア群(次世代 WIN)の検討と試作を行う。

( 8 ) 本課題の 5 か年計画の概要：

平成 31 年度においては、現 WIN システムにおける課題と次世代システムへの要望の集約を行う。平成 32 年度においては、伝送系システムまたは対話験測処理系システムの検討と試作を開始し、平成 33 年度に試作品を提供して試用を開始する。平成 34 年度においては、残りのシステムの試作を開始する。平成 35 年度には試作プログラムを公開する。

( 9 ) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

中川茂樹・鶴岡弘・青木陽介

他機関との共同研究の有無：有

北海道大学(青山裕・高橋浩晃)、弘前大学(前田拓人)、東北大学(内田直希・山本希)、名古屋大学(前田裕太)、京都大学(大見士朗・中道治久)、高知大学(大久保慎人)、九州大学(松島健)、

鹿児島大学(八木原寛), 東京大学大学院工学系研究科(大竹和生), 防災科学技術研究所(汐見勝彦・植平賢司・上田英樹), 気象庁(宮岡一樹), 気象研究所(溜淵功史), 神奈川県温泉地学研究所(本多亮), 地震予知総合研究振興会(関根秀太郎)

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名: 東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会 企画部

電話: 03-5841-5787

e-mail: yotikikaku@eri.u-tokyo.ac.jp

URL: <https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>

(11) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名: 中川茂樹

所属: 東京大学地震研究所